

使い分けていますか？

公共交通

安心・安全みんなの足

内容に関するお問い合わせは
交通企画課 ☎211-2492へ

た時刻に決まった場所へ
れる移動手段を挙げると
数からは、かなり公共交
今一度、「あなたにとっ

通にズームアップ！

3



1



2



4



5



6



3

昼間割引

曜日問わず、午前10時から午後四時までに限って利用できる、地下鉄専用「昼間割引カード」は、25%のプレミアムが付き、改札機に「昼間中」の表示がある間だけ利用できます。そのほか、電車や市営バス、中央バス、じょうてつバス、エイ・アール北海道バスでも、昼間割引の乗車券を発売しています。

1

共通ウィズユーカード

切符を買わず専用の改札機に通すだけで使える、便利なカード型乗車券。平成四年の発売開始以降、七年にはプレミアムが付き、九年には、民営バスでも利用できる現行の、共通ウィズユーカードになりました。カードの金額によって10%、15%付いている割増金。

4

バスレーン

バスの定時運行を確保するために、区間や時間を限って、「バス専用」や「バス優先」にした車線。現在、市内には26路線28区間（総距離8万3千560m）整備されています。

2

一日乗車券

市営交通や民営バスを一日中何回でも利用できる「共通1DAYカード」のほか、「地下鉄専用1DAYカード」も発売しています。事前に購入しておくことができ、カードを使用した日一日が乗り放題になります。（バス路線の一部区間を除く）

利用促進に向けたさまざまな取り組み
ここに挙げたのは、公共交通の利用を促進するため、関係各社や各機関が行っている取り組みの数々です。皆さんは幾つご存じでしたか？おなじみの乗車カードから、普段あまり気に留めることのないシステムまでいろいろ。どれも交通事業者などがみんなに親しまれる、利用しやすい公共交通を目指して工夫を凝らしているものです。

マイカーの増加などにより

公共交通は苦戦する一方

しかし、このような取り組みにもかかわらず、残念なことに公共交通の利用者数は減少しています。一日平均利用者数のピークは、平成三年

度の百五十一万九千人。それが、十二年度には百二十九万九千人となり、ピーク時に比べて二十二万人も減っています。
一方、市内の自動車保有台数（二輪を含む）は、平成十二年度末で約九十七万台と、全国市町村の中で第三位。伸び率をみると、本市は前年度比1.4%と、保有台数第一位の横浜市（0.7%）、第二位の名古屋市（0.6%）に比べても、まだまだ高い数値です。こうした状況に加え、道路環境の充実、週休二日制による通勤回数の減少など、さまざまな原因も重なった結果、公共交通の利用者数が減り続けていると考えられます。交通事業の運営費のほとんどは、乗車料による収入で賄われています。そのため、公共交通全体が厳しい経営に直面しているのが現状です。